

留学生就職促進教育プログラム
KU 留学生キャリア形成支援プログラム (KU-SUCCESS)
2022 年度取組状況報告書

取組状況概要

KU-SUCCESS は、①関西大学に在籍する正規留学生であって、本プログラムの趣旨を理解し、国内就職を強く希望している者 ②本プログラムにおいて求められる所定の登録手続きをおこない、必要とされるカリキュラムを履修する意思のある者、③日本語能力試験 N2 相当以上の日本語能力を有する者を対象としたキャリア形成支援プログラムである。本プログラムでは、独自のポイント制度において、**100 ポイント以上**取得すること、なお、【日本語能力養成群】、【ビジネス日本語群】、【キャリア教育群】、【インターンシップ群】のそれぞれにおいて、最低必要ポイントを取得することとしている。以下、2022 年度の取組状況をそれぞれについて報告する。

「日本語教育」

本取組の学修目標は、「BJT ビジネス日本語能力テスト」上位レベル (J1～J1+) 相当の能力を養成することと設定しており、プログラム参加当初 (2 年次もしくは大学院 1 年次) に、日本語能力 N2 (CFER B2) 程度の日本語能力を持っていることを参加の前提とし、プログラム参加後、就職活動を本格的に始動する 3 年次後半まで「BJT ビジネス日本語能力テスト」上位レベル (J1～J1+) 相当に到達する能力を養成する日本語教育科目を提供している。以下にその科目の一覧表を示す：

<p>実践ビジネス日本語 1</p>	<p>【科目概要・目的】 ビジネスの基本的な場面と状況における日本語運用能力、対応能力、ビジネスマナーを身につけることを目的とする。具体的には、基礎的な知識 (文法・語彙、敬語・待遇表現、マナー) の獲得とともに、ディスカッション、ロールプレイとそのフィードバックから、ビジネスの基本的な場面・状況の認識の仕方と、会話や文書における情報の意味、意図の読み取り方、それらの場面・状況への対応の仕方を学ぶ。また同時に「BJT ビジネス日本語能力テスト」上位レベル (J1～J1+) 獲得への対策として回ごとに少しずつ「ビジネス日本語能力テスト」の問題構成や出題形式、出題内容の概要も学ぶ。</p>
<p>実践ビジネス日本語 2</p>	<p>【科目概要・目的】 実践ビジネス日本語 1 で獲得した基礎的コミュニケーション能力をさらに発展させ、ビジネスにおける複雑な場面と状況における応用的な日本語のコミュニケーション能力を磨くことを目的とする。具体的には実際のビジネス場面において起こりうる様々な問題に対して、その問題を発見する力、問題の原因を的確に把握する力、問題を解決する能力をディスカッション、ロールプレイ、ロールプレイのフィードバックを通して磨く。また同時に「BJT ビジネス日本語能力テスト」上位レベル (J1～J1+) 獲得へ向けての試験対策も行う。</p>

<p>日本事情 2</p>	<p>【科目概要・目的】 就職活動に成功し、日本語能力の伸長、および人間的成長を図るための基礎づくりを目指す。本科目での学びを通じて、それぞれ自らのキャリア計画を明確にし、同時に、自分にとって必要なスキルを自ら発見していくことが、本科目の目的である。具体的には意思疎通スキルなどのジェネリック・スキルに加えて、異文化対応スキルなど実践的に使えるスキルを学んでいく。</p>
<p>日本語 1-日本語 4</p>	<p>【科目概要・目的】 実社会での生活に支障なく言語行動が行える日本語基礎運用能力 (JLPT N1 レベル)、そして、大学での学術生活で必要とされるアカデミックスキルを身につけることを目的とする。具体的には、大学での学術生活、社会生活の中で必要となるプレゼンテーション・レポート/論文作成、講義理解等について学ぶ。</p>
<p>Communication in Japanese Society (Business Japanese)</p>	<p>【科目概要・目的】 本授業は、アカデミック日本語を学習してきた学生の次の段階として、さまざまな「ビジネスシーン」で使えるコミュニケーションスキルを身につけるためのビジネス日本語の入門レベルのクラスになる。授業の中では、実践的ビジネス日本語コミュニケーション能力の練習を中心に、時に企業人をゲストに招いて実践練習を行う。</p>

また、上記の正課科目に加え、KU-SUCCESS ではコミュニケーション学院と共催し「実践ビジネス日本語セミナー」を春学期にオンライン開講した。本学が開発にかかわった L M S (immerseU) を用いて、学習者層にあらかじめ教材を提供し、ZOOM と併用して授業を提供した。大学院学生層や研究生等、学部提供の科目は履修ができない KU-SUCCESS 参加者らを主に対象として、このような単発形式のセミナーも行っている (下図参照)。

The image displays three promotional posters for seminars. The first poster, '実践ビジネス日本語セミナー', is for international students and focuses on business Japanese skills. The second poster, 'BJTセミナー', is also for international students and focuses on Business Japanese Test (BJT) preparation. The third poster, 'SDGsをテーマとしたキャリア教育を始めた日本語教育 オンライン (Zoom) 探究・思考力養成セミナー', is for all students and focuses on career education and critical thinking skills. Each poster includes details about the seminar's content, dates, and contact information.

実践ビジネス日本語セミナー 2022 年度受講者数：のべ 40 名

BJTセミナー(春・秋) 2022 年度受講者数：のべ 26 名

探究・思考力養成セミナー 2022 年度受講者数：のべ 29 名

上記科目のいずれかまたは複数科目を 2022 年度までに履修した学生は奨学生 20 名中 17 名 (85%) であり、また、上記ビジネス日本語に関するセミナー等に参加した学生は 20 名中 15 名 (75%) であ

った。学部生にとっては必修科目である「日本語 1-4」をはじめ、ビジネス日本語に関する履修率は高く、学生はその必要性を認識し、着実に自身の日本語能力を高めていっていると思われる。

「キャリア教育（日本企業論等）」

本取組では、日本企業文化への理解を促進する科目などに加え、キャリア教育の意義を以下のようにとらえ、留学生の人材育成・キャリア形成支援の育成カリキュラムの根幹としてとらえている。文部科学省ホームページでは、キャリア教育にはいくつかの観点があると定義されている。1つ目は、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる」という、基礎（ファウンデーション）構築の観点である。2つ目は、「一定又は特定の職業に従事するために必要な知識、技能、能力や態度を育てる教育」の職業教育の観点である。この定義は、日本人学生を前提に従来形作られているものだが、外国人留学生のキャリア教育にも、この概念を当てはめることができるだろう。留学生の場合、1つ目の観点として、「(母国ではなく)日本で働く」ことへの意識・自覚や、異国で生活し、ライフ・キャリア、ワーク・キャリア双方の構築をしようという態度の育成といったことが基礎構築に加わる。2つ目の観点は、それぞれの専門的な知識や技能の習得なので、それぞれが望むキャリアごとに異なる次元の内容が入ってくる。この必要性は、留学生も日本人学生もなんら変わることはない。「21世紀スキル」「社会人基礎能力」もしくは「汎用的技能」といわれる、コミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力などは、1つ目の観点の範疇である。これらの能力は、外国人留学生ももちろん不可欠要素となる。

KU-SUCCESS が提供するキャリア教育科目は、以下のようなものがある：

<p>キャリアデザイン1 (日本の社会と企業)</p>	<p>【科目概要・目的】 日本で働くことと生きることのベースについて概観し、キャリアデザインの基礎固めを目的とする。履修年次：2年次</p> <p>【到達目標】</p> <p>①知識・技能の観点 キャリアデザインに関する基礎的事項を理解できる</p> <p>②思考力・判断力・表現力等の能力の観点 理解した基礎的事項をわかりやすく文章で表現できる</p> <p>③主体的な態度の観点 理解した基礎事項に基づいて、自分自身のキャリアについて考えることができる</p>
<p>キャリアデザイン2 (日本の就職と働き方)</p>	<p>【科目概要・目的】 産業・職業・企業についての理解を深め、情報収集、活用能力を高め受講生の仕事の世界観を広げることを目的とする 履修年次：2年次</p> <p>【到達目標】</p> <p>①知識・技能の観点 職業や産業、労働の世界に関する基礎的事項を理解できる</p> <p>②思考力・判断力・表現力等の能力の観点 理解した基礎的事項をわかりやすく文章で表現できる</p> <p>③主体的な態度の観点 理解した基礎事項に基づいて、自分自身のキャリアについて考えることができる</p>

<p>キャリアデザイン3 (日本の社会で働く)</p>	<p>【科目概要・目的】 将来の就職活動を踏まえ、職業選択と自己理解に基づいたキャリアデザインができるようになることを目的とする。 履修年次：3年次</p> <p>【到達目標】</p> <p>①知識技能の観点 キャリアプランニングに必要な自己理解を得ている、また、それを他者に適切に伝え協働を実現できる</p> <p>②思考力・判断力・表現力など、日本語操作力の観点 身につけた能力や経験をわかりやすく文章で表現できる、グループに口頭表現で伝えることができる</p> <p>③主体的な態度の観点 自分自身のキャリアプランニングについて考えることができる</p>
<p>日本事情1</p>	<p>【科目概要・目的】 人口減少や経済収縮の課題に直面する日本の地域社会の現状について、ケーススタディを通して基礎的なことから学ぶとともに、その課題解決に向けた事業を「ソーシャル・ビジネス」の視点から作成することを通し、持続可能な地域の形成に役立つソーシャル・ビジネスの課題と可能性について認識を得ることをめざす。</p> <p>前半では日本の地域社会が直面する諸課題とその解決に取り組むソーシャル・ビジネスの事例を紹介しながら学ぶ。後半ではソーシャル・ビジネスの手法について解説し、学生が自ら設定したビジネスプランを作成する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①知識・技能の観点 社会の課題を事業的手法で解決するソーシャル・ビジネスの組み立てに必要なスキルの習得</p> <p>②思考力・判断力・表現力等の能力の観点 日本の地域社会における諸課題についての基本的な理解 ソーシャル・ビジネスの特徴を活かしたプランを広く伝えるための表現の工夫</p> <p>③主体的な態度の観点 ユニークな視点からの課題解決型ビジネスのプランニング プランの実現に必要な資源の獲得方法についての理解</p>
<p>Communication in Japanese Society (JPN Corporate Culture)</p>	<p>【科目概要・目的】 日本で働くこと、社会人として日本語でビジネスを行うことを希望する学生を対象に、現代日本の様々なビジネス業界について日本語でその仕組みについて学びながら、必要な語彙（ポキャブラリー、専門用語）や表現についても学ぶ。</p> <p>本授業では、企業人をゲストに招いた講演、実際のビジネスシーンの見学といった授業内外での活動も行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①現代日本の様々な職種・業界について理解する</p> <p>②社会人として使えるビジネス日本語の基本を身につける</p> <p>③自ら主体的に活動し、調べ、学習をして、結果をまとめるスキルを身につける</p> <p>④社会人になっても必要な多様な社会的役割の人物とのコミュニケーションスキルとプレゼンテーションのコツを学ぶ</p>

2022 年度には、これらの科目の内キャリアデザイン 1 と 3 が春学期、キャリアデザイン 2 が秋学期開講として提供した。特別配慮の学生（オンライン参加）等は春学期もいたが、秋学期になり全面対面授業での開講に切り替わり、学生の参加度合いも徐々に回復傾向を見せた。KU-SUCCESS 参加者らは、これらの科目を履修する中で、基礎的な企業文化理解を進めると共に、昨今の産業界の変化についても担当講師から情報提供を受け、これから大きく変化を遂げようとする社会の担い手としての準備となるように工夫を行った。

キャリア教育の取組で、従前の SUCCESS-Osaka の取組と同様に力を入れているのが、インターンシップに参加する層のレディネスを高める教育活動や、就職活動を本格的に行う層を対象とした集中講座である。これらは単位化をしていないセミナーベースのキャリア教育コースとして提供しているものである。

The image shows two promotional posters for SUCCESS Career Skills Seminars. The left poster is for the Spring semester (SUCESS就職支援集中講座(春)) and the right is for the Autumn semester (SUCESS就職支援集中講座(秋)). Both posters list dates, times, and topics for six sessions, along with application methods and contact information.

SUCCESS 就職支援集中講座（春・秋） 2022 年度受講者数：のべ 112 名

現在、これらの単位化されていないコースやセミナーに参加した場合、それぞれ学修ポイントを付与するという活動で留まっているが、今後、これらの正課外のコース履修の履歴をデジタル化し、ポイント修了制度を改善させた形で本プログラムの体系化を図ろうと考えている。

「インターンシップ」

KU-SUCCESS のインターンシップは、以下のように 3 タイプを想定して策定している。どれも 10 日間以上のインターンシップ期間を保証するものである。PBL インターンシップは、2-3 年次から参加ができる活動であり、実践業務型・ハイブリッド型インターンシップにつながる企業理解・研究を学びの主体とするものとなっている。

<p>PBL（課題解決）型 インターンシップ</p>	<p>留学生の企業研究の促進を主目的とし、3-4 年次での就職につながる本格的なインターンシップのための準備を行う。 研修中に、定期的に報告書の提出と監修担当講師との面談を必須とし、活動の振り返りと就職活動の一環としての意識付けを伴った活動としての提供を行う。</p>
--------------------------------	--

<p>実務体験・実践型 インターンシップ</p>	<p>就職活動中の「実践業務型」インターンシップによる就業体験を通じた企業理解及び3年次の3月以降は、外国人雇用意志がすでにある企業との相性確認プロセスとして機能させる。 研修中に、定期的に報告書の提出と監修担当講師との面談を必須とし、活動の振り返りと就職活動の一環としての意識付けを伴った活動としての提供を行う。</p>
<p>ハイブリッド型 インターンシップ</p>	<p>「ハイブリッド型」インターンシップにより企業体験、理解を深める。3年次の3月以降は、外国人雇用意志がすでにある企業との相性確認プロセスとして機能させる。 研修中に、定期的に報告書の提出と監修担当講師との面談を必須とし、活動の振り返りと就職活動の一環としての意識付けを伴った活動としての提供を行う。</p>

2022年度は、京阪ホールディングス株式会社、株式会社共立メンテナンス、レンゴー株式会社、株式会社ミキハウス、株式会社マルカといった関西近郊に拠点を置く企業と連携し、KU-SUCCESSオリジナルのインターンシップを構築し、参加学生達に提供を行った。

インターンシップ参加を促進する目的で、本取組ではオンラインで開催する「インターンシップフェア」を開催している。夏と冬の期間に実施するインターンシップのタイミングにて、企業側の参加を誘致し、より適性のあるインターンシップへの参加を学生達が選択できるよう実施しているものである。企業アピールの場としても機能しており、外国人留学生層の認知度が上がる効果もある（下図参照）。

ON-LINE INTERNSHIP FAIR
オンラインインターンシップフェア
2022年6月28日(火)
7月6日(水)・7日(木)・8日(金)
16:30-18:45
インターンシップガイダンス(6月28日のみ)
参加企業による説明・質疑応答(各社30分程度)
実施方法：オンライン (Zoom)
対象：外国人留学生
参加費用：無料
定員：100名
※定員になり次第締め切ります。

参加予定企業一覧
PwCコンサルティング合同会社、アクセンチュア株式会社、アマゾンジャパン合同会社、株式会社セガ、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社ミキハウス、レンゴー株式会社、ローム株式会社 他10社(順不同)

申込方法
下記URLまたはQRコードよりお申込ください。定員になり次第締め切ります。
お申込後、詳細については登録メールアドレスにご連絡します。
<https://forms.gle/o1NY3ikD115ncop5A>
申込締切：7月5日(火) 15:00まで
(ただし、6月28日(火)については、6月27日(月)15:00まで)

外国人留学生対象!
ON-LINE
グローバルキャリアフェア
(インターンシップフェア+業界研究会)
Global Career Fair (Internship+Business Research)
12月12日(月)・13日(火)・14日(水)
16:30~18:10
参加企業による説明・質疑応答(各社40分程度)を実施します。

参加予定企業一覧
株式会社ミキハウス、株式会社共立メンテナンス、株式会社セガ、株式会社マコト電気、京阪ホールディングス株式会社、他(順不同)

参加方法：オンライン (ZOOM)
参加費用：無料
対象：全学年
定員：100名
(定員になり次第締め切ります。)
申込方法：申込URLまたはQRよりお申込ください。
<https://forms.gle/RbNBQFAhVikWU5fh7>
※お申込後、詳細については登録メールアドレスにご連絡します。
申込締切：12月12日(月) 13:00まで

参加者には面接質問紙をプレゼント!
申込はこちら

お問い合わせ：コンソーシアムSUCCESS事務局 kusuccess@ml.kandai.jp

また、本取組において、2022年度に提示された三省（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）合意による新たなインターンシップの形式のとらえ方を踏まえ、産学協議会の提案を反映し、2023年度以降のインターンシップ構築について、2024年度以降外国人留学生対象のインターンシップの構築についても基準に則った形式への変更を検討している。

(<https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220613002/20220613002-1.pdf>)

- タイプ1 オープン・カンパニー
- タイプ2 キャリア教育
- タイプ3 汎用型能力・専門活用型インターンシップ
- タイプ4 高度専門型インターンシップ

本事業において開発を促進すべきなのはタイプ3及びタイプ4の大学等のインターンシップであり、「学生がその仕事に就く能力が自らに備わっているかどうか（自らがその仕事で通用するかどうか）を見極めることを目的に、自らの専攻を含む関心分野や将来のキャリアに関連した就業体験（企業の実務を経験すること）を行う活動（但し、学生の学修段階に応じて具体的内容は異なる）」と定義されている。日本人学生層のみならず、外国人留学生層についても本ガイドラインは看過することができない基準だと考えている。

半年間の長期型インターンシップ埋め込み型プロジェクト プレミアムインターンシップ：

Future Design Project

Future Design Project (FDP) は、SUCCESS-Osaka 事業 (2017-2021 文部科学省委託事業) の中で誕生し、KU-SUCCESS においても踏襲して活動を行っているビジネス企画創生型の長期インターンシップである。

2022 年度については、株式会社帝国ホテル、読売新聞大阪本社、株式会社電通、株式会社マクアケ、デジタル総合印刷株式会社、真生印刷株式会社、サンケイ総合印刷株式会社等が留学生を受け入れた。2022 年 11 月 17 日に最終発表会が実施され (於 関西大学梅田キャンパス)、44 名の会場参加者がある中実施された (下図参照)。



FDP 最終発表会ポスター



次年度へ向けた活動予定としては、コロナ禍が終息したとはいえ、物理的な距離などが阻害要因となりインターンシップへの参加を躊躇するケースは課題として残る。さらに、関西圏だけではなく、他県や関東圏都市部に拠点を持つ企業とのインターンシップを構築することで、よりキャリア形成の取組に参加する学生の拡充を狙うことができるため、**リモート・インターンシップの開発**なども視野に入れて検討と策定を開始している。2023 年度後半以降、新たなインターンシッププログラムを KU-SUCCESS の参加者層にも提供ができるよう活動を推進していく。

KU-SUCCESS プログラム参加者の就職内定状況

2022 年度卒業者の内定先は以下のようになっている。(順不同)

株式会社日本製鋼所,株式会社 I Dホールディングス,
株式会社パシオン, M o d i s 株式会社, 株式会社 HANATOUR JAPAN,
株式会社カインズ, 株式会社 G' E I G H T,
デロイトトーマツアクト株式会社, 京セラコミュニケーションシステム株式会社,
株式会社ドルフィンキック, 株式会社イー・ビジネス, サミットテック株式会社,
日本ロレアル株式会社, ヨシザワ想造建築株式会社, 株式会社すかいらーく,
株式会社ダーツライブ, サミットテック株式会社,
山田電器工業株式会社, 株式会社合食, 株式会社ジャッツ関西,
株式会社新日本ニーズ, 株式会社ネグゼス

企業規模・分野共に専門性を生かした高度人材としての採用(内定)につながっている。なお、これらの学生は、KU-SUCCESS として 2022 年度(取組み初年度)に活動に参加をしているが、それ以前には SUCCESS-Osaka プログラムにおいて提供していたビジネス日本語・キャリア教育・インターンシップに参加していた学生層でもある。2023 年度卒業層から、KU-SUCCESS のみの取組を経て就職活動を行った層の結果が出てくることになる。

まとめ：本プログラムにおける今年度の課題と状況理解

2022 年度は、コロナ禍がまだ不安定な時期であった春学期の期間の間、外国人留学生層も活動が鈍化し、想定よりも少ない人数が 100 ポイント修了の達成をするに限定されてしまった。KU-SUCCESS プログラムとしての新しい取組の認知度を学生間で高める活動や、参加している学生それぞれとのコミュニケーションを取る機会の獲得も、2022 年度は動きが制限されている中であつたことなどが要因だと考えている。2023 年度は、JASSO 奨学金受給者を中心に、本プログラムの修了者数を目標値(全参加者の 8 割)に近づけていくため、参加学生と LINE グループを構築し、セミナー等への参加を促すなど、双方向型の情報発信を強化し始めている。

一方で、2022 年度の本学の外国人留学生層(KU-SUCCESS 層)の就職内定率は、希望者層のうち 78%が内定を獲得できている。プログラム修了には至っていないが、参加しているプログラムや科目で得たスキルや知識は、就職活動等に還元されていると言えるであろう。学生達へのヒアリングでも、それぞれ必要と感じる活動には参加しており、有効活用をしていることは確認できている。今後プログラム修了と、内定率の相関性を高める工夫が、本取組で求められている。

また、2023 年度に突入し、学修履歴のデジタル化など、デジタルトランスフォーメーションの動

きが活発化する中、本取組におけるプログラム履修の活動記録およびプログラム修了のとらえ方も、旧式な手法にとらわれず変容させることで、より参加者側そして教育プログラム主催者側にとっても個人のニーズにより寄りそった形態を創出することができるのではないかと考え、目下検討している。

以 上

ⁱ 文部科学省ホームページ「キャリア教育・職業教育の意義と、これを通じて育むべき能力等について」
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo10/shiryo/attach/1280902.htm